

(3) 障がい者スポーツトレーナー基準カリキュラム

障がい者スポーツトレーナー（理論科目 19 時間・実技科目 13 時間）

講習科目	No.	講義名	時間
理論科目 (計 19 時間)	1	障がい者スポーツの国内外の現状	1 時間
	2	スポーツ栄養学	1 時間
	3	脊髄損傷、二分脊椎、その他の機能障がい	1 時間
	4	脳性麻痺、脳血管障がい、中枢神経障がい	1 時間
	5	視覚障がい者の医学的リスクファクター	1 時間
	6	聴覚障がい者の医学的リスクファクター	1 時間
	7	内科的合併症の医学的リスクファクター	1 時間
	8	車椅子操作によるパフォーマンス	2 時間
	9	パラリンピックの報告	1 時間
	10	パラリンピックでのトレーナー体験発表 1	45 分間
	11	パラリンピックでのトレーナー体験発表 2	45 分間
	12	パネルディスカッション	2 時間
	13	最新のコンディショニング事情 ㊤1	1.5 時間
	14	最新のアンチ・ドーピング事情 ㊤2	1 時間
	15	救急処置	1 時間
	16	アスレティックトレーナー最新情報 ㊤3	2 時間
			1 次検定試験（理論）
講習科目	No.	講義名	時間
実技科目 (計 13 時間)	1	コンディショニング実技	2 時間
	2	アスレティックリハビリ実技	2 時間
	3	アスレティックトレーナー基礎技術（1） ～テーピングなど～	3 時間
	4	アスレティックトレーナー基礎技術（2） ～医療系のリハ～	3 時間
	5	アスレティックトレーナー基礎技術（3） ～現場のコンディショニング～	3 時間
		2 次検定試験（実技）	

※ ㊤1～3 は、障がい者スポーツトレーナー有資格者の資格更新条件となる指定講習会を兼ねて実施する。